

## 本活動は何か？

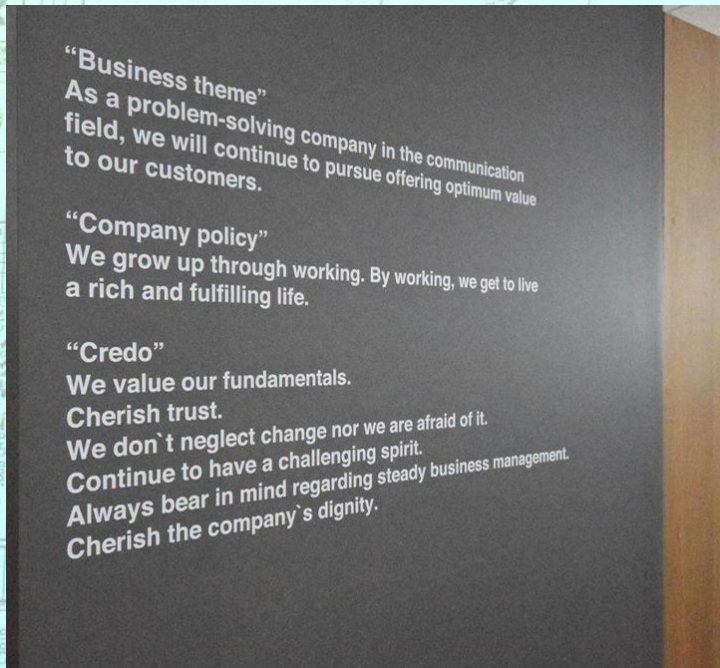
本活動は、中堅中小企業(SME)、社会(大学、NPO等)が連携し、学生の成長と企業の価値創出を同時に実現する共創型プログラムです。

この取り組みは、「理想」からではなく、「人材・予算・時間・情報がない」という資源制約の中から生まれました。

従来の産学連携が「技術」や「研究」を軸としてきたのに対し、本モデルは中小広告代理店の実務から発想された、

「コミュニケーション(対話)」を核としたサステナビリティをテーマに据えた産学連携として、2010年に誕生しました。

学生と社会人が実社会の中で対話し、相互に学び合うことで、企業の中に新たな視点と変化が生まれます。



ニッセイエプロ株式会社は2010年、国連グローバルコンパクトに署名以来、人権、労働、環境、腐敗防止の4つを柱とした10の原則を遵守し、事業活動に取り組んできました。



## 続く仕組みが、企業をしなやかに強くする

### 1. 人を起点とした共創

技術や資金ではなく「人」を中心に、大学・企業・社会がつながる。その結果、長期的な人材関係が構築されます。

### 2. 成長が循環する仕組み(サーキュラー人的資本)

学生 → 社会 → 経験 → アルumni(卒業生) → 次世代

この人的循環により、関係性が蓄積され、企業は継続的に外部視点を取り込み続けることができます。

### 3. 小さく始めて、大きく育つ

特別な設備や投資は不要。業種・規模も問いません。対話から始まり、継続することで価値が増幅します。



▲2025年度は7名の学生が参加

## サステナビリティの実装

本活動は16年間にわたり、毎年4か月間、週1回100分の授業として継続してきました。延べ107名の学生と対話を重ねてきた実践です。

その過程で、

- 教育 (SDGs4)
- 働きがい (SDGs8)
- パートナリシップ (SDGs17)

を横断的に体現してきました。

その結果、形式的な対応ではなく、実践としてサステナビリティを組み込むことを可能にしています。

◀ 尚、本活動は、2024年に国連グローバル・コンパクトにも取り上げられ、世界へ紹介されました。

## 「これってお金になるのか？」への答え

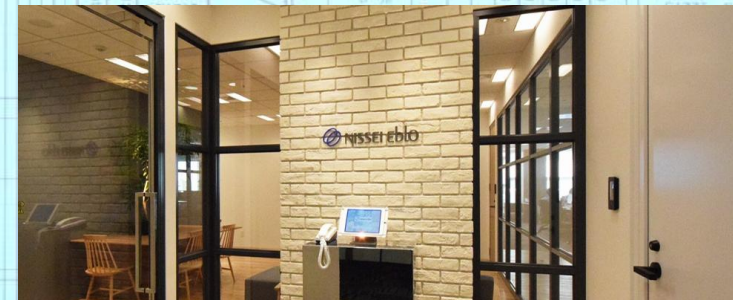
よくいただく問いです。結論から言えば、短期的な売上ではなく、長期的な競争優位を生み出す取り組みです。

本活動が生み出すのは、財務指標には現れにくい以下の「見えない資産」です。

- 学生時代からつながる人材ネットワーク
- 社員の主体性・思考力の向上
- 外部との継続的な関係性
- 共感・信頼による企業ブランド

これらは、一度構築されると失われにくく、他社が模倣できない独自資産となります。

つまり本モデルは、「関係性を資産化する経営」であり、中長期の収益力を支える基盤となります。



## これからの時代に向けて

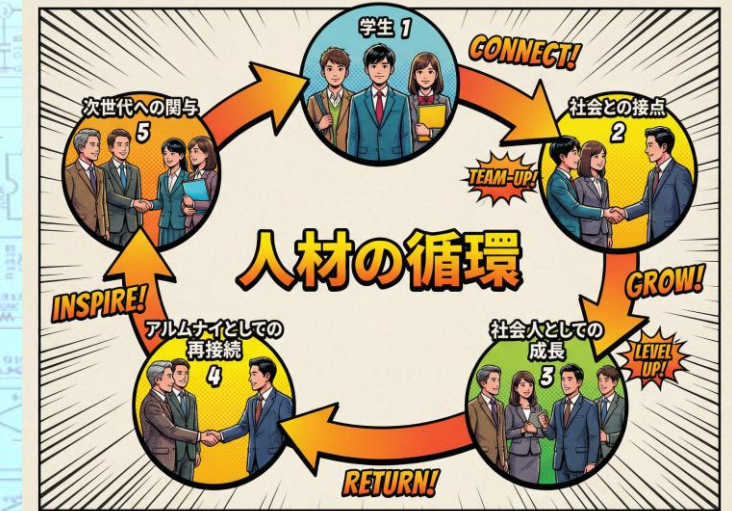
終身雇用の揺らぎや働き方の多様化により、個人と企業との関係は大きく変化しています。こうした時代において、

「人が成長し続ける場」  
「世代を超えてつながる仕組み」

の重要性は、ますます高まっています。これからの企業に求められるのは、

『人的資本』、『学び続ける力』、『社会とのつながり』

であり、その鍵こそが「コミュニケーション」と考えています。



本活動は、小さな対話から始まりました。そして今、それらを統合する、

「人が成長し続ける仕組み(エコシステム)」

として機能しています。

この積み重ねが、人と人のつながりを生み、成長を循環させ、やがて「選ばれる企業の資産」となります。

それは単なる社会貢献ではなく、企業の未来を支える新しい価値創造のかたちです。

## 人とのつながりが、企業の資産になる

私たちは、この取り組みを通じて確信しています。企業の未来をつくるのは、設備でも資本でもなく、「人と関係性の質」であるということ。そしてその関係性は、意図して設計し、育てていくことができます。

いま必要なのは、これまでの延長ではなく、これからの時代に適応した「新しい青写真」です。もし、貴社が

- ・人材の定着や成長に課題を感じている
- ・採用や組織に新しい視点を取り入れたい
- ・自社らしいサステナビリティを模索している

のであれば、ぜひ一度ご相談ください。私たちと共に、「つながり」を価値に変え、持続可能な企業のかたちを描いていきましょう。



▲若手中堅社員と意見交換

### Consulting – 問いを立てる

長年、学生との共創プログラムで培った「次世代の感性」を触媒に、貴社の埋蔵資産を掘り起こします。

### Creative – 形にする

Web、動画、印刷。媒体に縛られず、貴社の「体温」が最も伝わる形をデザインします。

### Promotion – 対話を生む

単なる発信ではなく、受け手との間に「新しい対話」が生まれる場をプロデュースします。

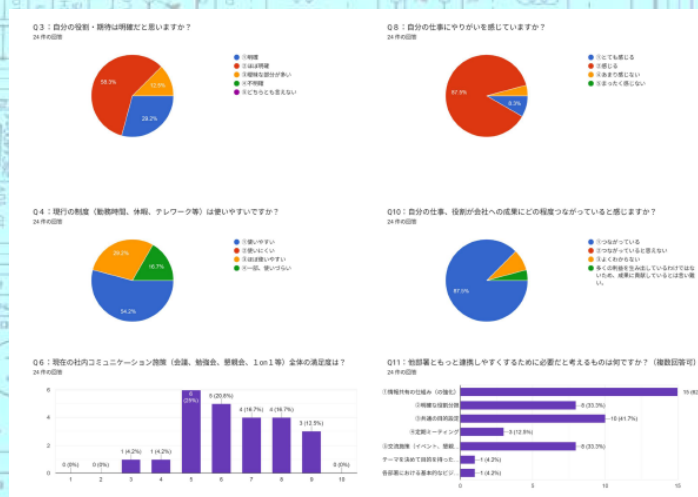
## 問いは、未来を動かす



▲社長と学生のフラットな対話



▲学生目線で考えたアンケートを社内で実施▼



つたえる、つながる。その先へ

# Beyond Communications

サステナビリティレポート  
Eblo Report 2025

NISSEI eblo  
ニッセイエブロ株式会社

## beyond Communication つたえる、つながる。その先へ。

私たちは、「伝える」だけでは企業は変わらないと考えています。人と人がつながり、その関係性の中でこそ、新しい価値は生まれる。

情報が溢れ、正解が見えにくい時代において、企業に求められているのは「何を言うか」ではなく、「誰と、どのようにつながるか」です。

だからこそ私たちは、コミュニケーションを単なる手段ではなく、企業や社会のあり方そのものをデザインするものと捉えています。

その実践として生まれたのが、大学・中小企業・社会がつながる共創型の取り組みです。

それは、単なる産学連携ではなく、人の成長が循環し続ける、新しい仕組みへの挑戦です。



▲エコプロで来場者に説明する学生スタッフ